



2023年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月8日

上場会社名 PCIホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3918 URL <https://www.pci-h.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横山 邦男
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営企画本部長(氏名) 井口 直裕 (TEL) 03-6858-0530
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第3四半期の連結業績(2022年10月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第3四半期	21,169	14.4	1,289	16.7	1,311	11.8	565	△18.2
2022年9月期第3四半期	18,506	27.0	1,104	79.9	1,173	80.1	690	104.7

(注) 包括利益 2023年9月期第3四半期 743百万円(△5.3%) 2022年9月期第3四半期 784百万円(178.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第3四半期	56.14	—
2022年9月期第3四半期	68.75	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年9月期第3四半期	17,478	8,701	46.5	807.08
2022年9月期	16,915	8,374	45.9	771.99

(参考) 自己資本 2023年9月期第3四半期 8,133百万円 2022年9月期 7,768百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	15.00	—	16.00	31.00
2023年9月期	—	16.00	—	—	—
2023年9月期(予想)	—	—	—	17.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日~2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	19.2	1,800	24.6	1,830	18.1	1,070	66.4	106.23

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2023年1月30日付で譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分を行っております。上記の連結業績予想の1株当たり当期純利益については、当該自己株式の処分の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年9月期3Q	10,322,400株	2022年9月期	10,322,400株
2023年9月期3Q	244,385株	2022年9月期	259,885株
2023年9月期3Q	10,071,145株	2022年9月期3Q	10,050,641株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は、2023年8月21日(月)にアナリスト・機関投資家向け説明会(Web配信)を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、事前にTDnet及び当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年10月1日～2023年6月30日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に移行され、各種政策・行動制限の緩和により、経済活動の正常化の兆しがみられました。一方で、インフレ対策としての世界的な金融引き締め政策の継続によって景気の下振れリスクが懸念されたことに加え、安全保障面等に起因する供給網の制約や金融資本市場の変動に留意が必要となる等、引き続き先行き不透明な状況下で推移いたしました。

当社グループが属する情報サービス産業におきましては、ICT(※1)、IoT(※2)、人工知能(AI)等の先端技術を活用したデジタルトランスフォーメーション(DX)が急速に進展し、それに伴うIT投資需要は堅調に推移いたしました。しかしながら、IT人材不足は常態化しており、特に先端IT人材の確保とリスクリングによる技術力向上が課題となっております。

このような状況下において、当社グループは、継続的な新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じつつ、2023年9月期を最終年度とした中期経営計画「PCI-VISION2023」を推進してまいりました。既存事業においては目標達成に向けて着実な推進を図るとともに、経営の合理化を目的としたグループ内再編を実施し、2022年10月1日付にてPCISソリューションズ株式会社(存続会社)による株式会社シー・エル・シーの吸収合併を行いました。また、新たな事業領域の獲得や拡充を企図して、2023年1月に、生鮮流通業向けシステム開発事業及びERPソリューション事業を展開するパーソナル情報システム株式会社を連結子会社化(孫会社)いたしました。なお、新たに連結子会社となったパーソナル情報システム株式会社の売上高及び損益は第2四半期連結累計期間の2月より四半期連結財務諸表に取り込んでおります。

2022年11月には、サステナビリティ委員会が中心となって議論し、気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)の提言への賛同を表明いたしました。また、2023年6月にはマテリアリティを特定するとともに、「PCIGグループ人権方針」を策定し、公表いたしました。当社は、これらに示した方針に基づき、持続的成長を目指して事業活動を推進しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は21,169百万円(前年同期比14.4%増)、営業利益は1,289百万円(前年同期比16.7%増)、経常利益は1,311百万円(前年同期比11.8%増)となりました。なお、親会社株主に帰属する四半期純利益は565百万円(前年同期比18.2%減)となりましたが、これは、2023年9月1日付で当社連結子会社である株式会社りーふねっとの全株式を譲渡することに伴って見込まれる税金額を法人税等調整額(借方)として当第3四半期連結会計期間に計上したこと等の影響によるものです。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

(ITソリューション事業)

ITソリューション事業につきましては、売上高は17,100百万円(前年同期比13.2%増)となり、セグメント利益は866百万円(前年同期比8.6%増)となりました。

以下では、ITソリューション事業における概況と売上高を主要区分別に示します。

① エンベデッドソリューション

ソフトウェア開発においては、CASE(※3)による次世代モビリティの牽引により、自動車関連案件が堅調に推移した他、カメラ・センサー系開発案件、通信・専用装置開発案件が増大いたしました。ハードウェア開発においては、部材高騰による影響が継続いたしました。徐々に販売価格の適正化が進み、収益性改善の兆しがみられました。また、医療事務システムの受注が増大し、売上に寄与いたしました。

以上の結果、売上高は9,989百万円(前年同期比10.3%増)となりました。

② ビジネスソリューション

企業の継続的なデジタル化・DXの推進加速を背景に、産業・流通向け及び金融向けソフトウェア開発案件が堅調に推移した他、キッティング業務等の請負案件が収益に寄与いたしました。また、新たに連結子会社となったパーソナル情報システム株式会社の業績を第2四半期連結累計期間の2月より計上しており、同社が展開する生鮮流通業向けソリューション等が収益の拡大に貢献いたしました。

以上の結果、売上高は7,111百万円(前年同期比17.5%増)となりました。

(IoT/IoEソリューション事業)

IoT/IoEソリューション事業につきましては、売上高は2,263百万円(前年同期比33.3%増)となり、セグメント利益は238百万円(前年同期比80.5%増)となりました。

利益率の高い事業者識別番号を活用した通信事業が好調に推移した他、重機・建機向けIoT関連開発が堅調に推移いたしました。また、これまで研究開発を進めてきたAI画像認識等の要素技術を活用したAIカメラ画像解析システムを開発し、売上に寄与いたしました。

(半導体トータルソリューション事業)

半導体トータルソリューション事業につきましては、売上高1,853百万円(前年同期比5.8%増)となり、セグメント利益は175百万円(前年同期比3.0%増)となりました。

市場における半導体需要の停滞感が見られる中で、インフラ・IoT等に係る半導体潜在需要は引き続き強く、LSI設計・テスト開発における引き合いが継続したことに加え、グループ企業間及び協業企業との連携による案件の継続受注等、総じて堅調に推移いたしました。

(注) 上記に用いられる用語の説明は以下のとおりであります。

(※1) ICT : (Information and Communication Technology/情報通信技術)
情報処理および通信技術の総称。

(※2) IoT : (Internet of Things)
コンピュータ等の情報・通信機器だけでなく、様々な「モノ」に通信機能を持たせ、インターネットに接続、相互に通信することにより、自動認識や自動制御、遠隔計測等を行うこと。

(※3) CASE :
「Connected」「Autonomous」「Shared」「Electric」の頭文字を取った造語。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、17,478百万円となり、前連結会計年度末に比べ562百万円増加いたしました。

流動資産につきましては、受取手形、売掛金及び契約資産160百万円の減少の一方で、電子記録債権364百万円の増加等により、前連結会計年度末に比べ259百万円の増加となりました。

固定資産につきましては、有形固定資産24百万円の減少、無形固定資産281百万円の増加、投資その他の資産44百万円の増加により、前連結会計年度末に比べ301百万円の増加となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、8,777百万円となり、前連結会計年度末に比べ236百万円増加いたしました。

流動負債につきましては、電子記録債務117百万円、賞与引当金246百万円の減少の一方で、1年内返済予定の長期借入金56百万円、未払金85百万円、その他531百万円の増加等により、前連結会計年度末に比べ335百万円の増加となりました。

固定負債につきましては、社債81百万円、その他44百万円の増加の一方で、長期借入金215百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べ99百万円の減少となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は8,701百万円となり、前連結会計年度末に比べ326百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益565百万円、その他有価証券評価差額金145百万円の増加の一方で、配当金の支払322百万円による減少があったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は46.5%(前連結会計年度末は45.9%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年9月期の連結業績予想につきましては、2022年11月11日付「2022年9月期 決算短信」にて公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,629,966	2,626,475
受取手形、売掛金及び契約資産	4,779,257	4,618,419
電子記録債権	1,344,586	1,709,535
棚卸資産	1,627,621	1,602,312
その他	824,490	908,803
流動資産合計	11,205,922	11,465,547
固定資産		
有形固定資産	952,359	927,779
無形固定資産		
のれん	2,150,607	2,396,416
その他	111,350	146,973
無形固定資産合計	2,261,957	2,543,389
投資その他の資産	2,495,295	2,540,249
固定資産合計	5,709,612	6,011,418
繰延資産	—	1,426
資産合計	16,915,534	17,478,392
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,091,271	2,112,884
電子記録債務	888,030	770,785
1年内償還予定の社債	—	30,000
1年内返済予定の長期借入金	872,364	928,958
未払金	506,466	591,673
未払法人税等	174,844	134,392
賞与引当金	532,490	286,150
役員賞与引当金	20,665	25,629
アフターコスト引当金	3,741	1,519
資産除去債務	—	11,717
その他	1,419,412	1,950,904
流動負債合計	6,509,286	6,844,615
固定負債		
社債	—	81,000
長期借入金	1,052,747	836,880
役員退職慰労引当金	15,730	8,826
退職給付に係る負債	128,891	122,889
資産除去債務	457,218	461,428
その他	377,234	421,591
固定負債合計	2,031,820	1,932,615
負債合計	8,541,107	8,777,230

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,091,897	2,091,897
資本剰余金	3,670,161	3,661,320
利益剰余金	2,388,876	2,632,763
自己株式	△337,933	△317,778
株主資本合計	7,813,002	8,068,203
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,513	143,891
退職給付に係る調整累計額	△43,314	△78,336
その他の包括利益累計額合計	△44,827	65,554
新株予約権	47,790	58,652
非支配株主持分	558,461	508,751
純資産合計	8,374,426	8,701,162
負債純資産合計	16,915,534	17,478,392

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
売上高	18,506,184	21,169,292
売上原価	13,713,507	15,885,808
売上総利益	4,792,676	5,283,484
販売費及び一般管理費	3,688,030	3,994,160
営業利益	1,104,646	1,289,323
営業外収益		
受取利息及び配当金	41,401	20,144
投資事業組合運用益	2,027	883
助成金収入	9,576	6,344
保険解約返戻金	10,543	—
その他	13,950	3,741
営業外収益合計	77,499	31,114
営業外費用		
支払利息	7,268	6,049
その他	1,816	3,130
営業外費用合計	9,084	9,180
経常利益	1,173,060	1,311,258
特別損失		
固定資産除却損	1,127	3,783
減損損失	57,770	—
投資有価証券償還損	1,520	—
その他	10,603	—
特別損失合計	71,021	3,783
税金等調整前四半期純利益	1,102,039	1,307,475
法人税、住民税及び事業税	252,234	363,724
法人税等調整額	11,660	311,028
法人税等合計	263,895	674,752
四半期純利益	838,143	632,722
非支配株主に帰属する四半期純利益	147,166	67,347
親会社株主に帰属する四半期純利益	690,977	565,375

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	838,143	632,722
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,511	145,404
退職給付に係る調整額	△50,089	△35,022
その他の包括利益合計	△53,601	110,382
四半期包括利益	784,542	743,105
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	637,376	675,757
非支配株主に係る四半期包括利益	147,166	67,347

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。